

4点 適正である：3点 やや劣っている：2点 劣っている：1点

評価項目	No	評価基準	評価方法	平均値	項目平均値	コメント(理由・課題等)まとめ
(1) 経営状況	1	図書館の収支のバランス、支出は適切か	報告書類により確認する	4	4	
(2) 基幹業務	1	カウンターサービスは適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 対応が丁寧でカウンターからの声掛けがとても良い。 コロナ対策に十分配慮して窓口での対応は適切に行われている。
	2	予約リクエストサービスは適切にされているか(予約リクエストの案内、相互貸借の案内、類書案内等)	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 予約者数は表示されているが、返却日がいつか等、予約の進捗状況が見えないので、工夫が欲しい。 相互貸借は国立国会図書館でもできるはずなので、蔵書検索に加えたかどうか。
	3	レファレンスサービス・調査相談室の運営は適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> TRCスタッフ対象のオンライン研修や兵庫図協の研修を受講するなど、スキルアップを図っている。 レファレンスサービスについてひと目で分かるようにしてほしい。
	4	移動図書館サービス(定期巡回、アウトリーチ活動)は適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により訪問事業の申込が減少し、定期巡回が中心となっている。コロナ禍での工夫がほしい。 入所型の福祉施設すべてへの積極的な営業活動を望む。
	5	映画会や各講座、イベント等の集客活動は適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により中止となったイベントもあるが、感染対策に配慮し多くの行事が開催されており、特に郷土史講座は毎回多数の参加者がある。 生涯学習カレッジとの連携を望む。
	6	カフェルーム、閲覧席、研修室、コミュニティ等の部屋が活用されているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 学習席の利用者に対し、進路、大学、人生等についての蔵書もあることをPRし、図書の利用につなげる工夫がほしい。
(3) 選書	1	蔵書状況・選書・蔵書構成は適切か、分類に偏りがなく蔵書されているか	現地にて現状を確認する	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 概ねバランスよく構成されているが、あえて言えば社会科学分野が比率的にやや少ない。 ニーズ調査等と現状の比較評価が欲しい。
	2	館内の本の展示、ポップ等での本の紹介、読みたくなるような工夫が適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 新着書や季節柄に合った展示がなされていた。 社会で話題になっていること、現在であればコロナについての特別コーナーを用意することが、コロナ禍で図書館ができることの一つだと思う。また、図書館員お勧めの本の紹介もあれば良い。
(4) 広報	1	利用者への図書館サービスの情報発信・イベント等のPRは適切に行われているか	現地やHPにて現状を確認する	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 館内掲示やwebサイト、図書館だよりといった従来の媒体に加え、SNSも導入されている。 読書に興味のない方へのPR方法の工夫が必要。 積極的なプレスへの情報提供などが必要。
	2	未利用者に利用を促すための広報活動、PRの工夫が適切に行われているか	報告書類(図書館だより、チラシ等)やHPにて確認	3		<ul style="list-style-type: none"> 未利用者に向けた図書館外での広報の工夫が欲しい。 市役所関係部署との連携し、困った時に図書館があるということを広くアピールし、市民が課題解決能力を身につける支援を図書館が行う。
	3	施設周辺及び館内の利用案内等がわかりやすく工夫されているか	現地やHPにて現状を確認する	3		
(5) ITを活用した図書館サービス	1	電子図書館の運用について評価できるか	報告書類や電子図書館を確認する	3	3	公開点数と利用実績との相関の評価が欲しい。
(6) 子どもの読書活動推進	1	子どもへの資料(絵本、紙芝居等)提供は適切にされているか、児童室、絵本コーナーにおいて、子ども向けにわかりやすい案内がされているか、資料は過不足なく蔵書されているか	児童室、絵本コーナーを現地にて確認する	4	3	本館児童室の蔵書は充実しており、見た目も分かりやすい。
	2	おはなし会、子ども向け各種行事の開催回数は妥当か、または適切にされているか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 春季はコロナ禍により中止となったが、以降は再開され定期的に実施されている。 コロナ禍であるが、参加人数を増やす工夫がほしい。
	3	ヤングアダルト向け資料の充実と読書環境の整備は適切か	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 適切な配置、展示がなされている。 現在、三田学園と連携した展示コーナーがあるが、他の学校にも声掛けをすべき。
	4	読書通帳の運用(案内、PR等)について評価できるか	報告書類や現地で現状を確認する	3		<ul style="list-style-type: none"> 読書通帳の利用メリットのPRが欲しい。 読書通帳の普及のためにキャッチコピーを募集したかどうか。

⑦ 学校連携	1 調べ学習の取り組みや団体貸出等について評価できるか	報告書類により確認する	3	3	・調べる学習コンクール及び学習教室は開催はできたものの参加者は大きく減少となった。今年度はやむを得ない部分はあるが、来年以降は準備が必要。 ・子どもたちの疑問に答える窓口やその疑問を投げ掛けやすくする仕組みは有るか？ IT活用の工夫も欲しい。
⑧ 高齢者、障害者、外国人の読書環境づくり	1 高齢者の読書環境づくりをすすめているか（大活字本コーナーの充実）	報告書類や現地にて現状を確認する	3	3	高齢者の利用も高い状況に対応している。
	2 障害者の読書環境づくりをすすめているか（点字・録音図書の出貸、対面朗読等）	報告書類や現地にて現状を確認する	3		当事者でないとは分からないこともあるため、障害関係団体に使いやすい図書館にするためのアンケートや座談会、インタビューなどを行なって共に進めていく必要がある。
	3 外国人の読書活動づくりをすすめているか（多言語資料の収集）	報告書類や現地にて現状を確認する	3		・蔵書以外にも、案内板、HPなども多言語化が必要かもしれない。 ・海外から来られている方々に対して、「相談窓口を開設しています」とPRして、ニーズの収集を進めていくべき。
⑨ ボランティアとの協働	1 図書館関係団体・各ボランティア団体との協働において情報共有や連携した活動が適切にされているか	報告書類により確認する	3	3	読み聞かせ等の活動が行われている。

【自由記述欄】※今年度テーマ「ITの活用を含む非来館型図書館サービス」に関する評価について自由記述欄にご記入ください。

●「ITの活用を含む非来館型図書館サービス」に関する評価・提案

・これからのニューノーマルな時代、コロナがいつ収まるのかわからない時代に来館しなくても「図書館がある」と思える仕掛けや仕組みが必要。

<webサイト・SNSによる情報発信>

- ・2020年12月よりtwitterアカウントを取得し、約90件ものツイートによる情報発信を行っていることは評価できる。効果的な情報発信手段とするためにはフォロワーの増加が必要。
- また、2021年2月からはInstagram（ヤングアダルト部門）も開始しており、SNSの活用がなされている。
- ・Zoomなどを利用してイベントを行う。書評大会（ビブリオバトルではなくて）など行ってはどうか。課題図書を読んでもいいし、みんなが大好きな本を紹介しあうといったことでコミュニティのプラットフォームになっていく。
- ・SNSの動画を利用して司書の「おすすめ本」を紹介する。
- ・メールマガジンを配信する。ボランティアを募って配信する。
- ・レファレンスをHP上で受付する。資料の案内、必要があれば資料の郵送などを行う。

<電子図書館>

2021年2月に600点の新規コンテンツが追加され、蔵書の充実とともに閲覧・貸出件数もその数を伸ばしている。ただし、冊子の貸出件数/蔵書冊数の比率でみても電子コンテンツの利用件数は少ないため、より一層の認知度向上が必要と考えられる。
情報も文化もますます紙媒体からデジタルデータへの移行が進むと思われ、図書館が高齢者だけのものにならずスマホ世代の方にも大いに利用してもらえる場所であって欲しい。
聴覚障害者や子どもたちのためのフリガナ付きの本が識別できるようにあればよい。電子図書館の蔵書が少ない。
電子図書館などいろいろと取り組んでいるので広報活動に力を入れていくことで、利用者にもっと浸透していくと思う。

<移動図書館の活用>

新型コロナウイルス感染対策を講じながら、移動図書館をさらに活用する。

●その他のサービスに関する評価・提案

<資料の予約>

オンラインで予約した本の準備状況の進捗の情報提供をできないか（例えば、宅配などの配送状況の連絡の様に）
ネットを利用して予約した本を受け取りに行くサービスなど、あればよい。
利用希望の集中する本に関して、複数冊を蔵書することを希望されている方もおられるようであるが、蔵書の充実という観点からは好ましくないもので、人気のある本に関しては、貸し出し期間の短縮設定を検討すべきではないか。

<広報>

図書館利用に興味のある方と興味のない方へのPR方法は、別々に工夫が必要と思われる。